



NPO 法人 流山市国際交流協会

NIFANEWS

発行：NPO 法人 流山市国際交流協会
〒270-0111 流山市江戸川台東 1-4 3F
国際理解サポートセンター内
☎：04-7128-6007
Email: nifa-support@bz04.plala.or.jp
http: nifa-home.sakura.ne.jp/

外国語にまつわる何でも相談、お手伝いに 頼れる事業部～外国語支援事業部～

平成29年度の第1号は、外国語支援事業部を特集します。色々な相談や翻訳を通して、国や地域の違いを超えて共に暮らしやすい街づくりを目指します。

発足：今から20年以上前のこと、当時は「生活情報委員会」と呼んでいました。市内に住む外国の方に向けて、日常生活に必要な情報を掲載した冊子を制作することから始まったのです。

平成23年10月、NPO法人化に合わせて今の事業部名に変わりました。

対応可能言語：英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語での対応ができます。これからは他の言語も対応できるようにします。



活動1：こんな相談に応じています

日本の方からの相談もあります（過去の例）

- ✧ 幼児の検診に同行し英語で通訳
- ✧ 保育園入園手続きの説明の通訳
- ✧ 学童が持ち帰る書類の説明サポート
- ✧ 学校行事の説明会の通訳とサポート
- ✧ 住民登録、戸籍関係の翻訳
- ✧ 米国在住の親族の死亡保険金手続き
- ✧ 米国非居住者証明書類作成サポート(所得税)

いずれの相談もサポートセンターに来所されたり、電話により受けています。その後適宜担当者に振り分けたり、チームで解決にあたっています。

活動2：こんな冊子を作り、公共機関に配っています

- ✧ What to do in an Emergency
(いざという時 何をしたらいいのか)
盗難、火災、自然災害時にどうすべきか原語での説明と救援を求める日本語表現などを記載
 - ✧ At Medical and Dental Clinics
(医療機関や歯科に関する情報)
症状を伝える、問診表に答える、質問に答える、指示を理解するなどの表現を記載
- これらの冊子もすぐに使えるように、日々アップデート、改訂を行います。

活動3：多文化共生へ：

流山市にも2千人を超える外国の方が住み、今後は益々増えそう。その方たちとも対等な関係を築き、地域社会の構成員として共に生きていけるよう諸活動に取り組みます。

活動4：外国語の監修：

NIFAで作成するチラシ、パンフ他の印刷物、ホームページなどに記載される外国語の監修をしています。



外国語支援事業部の課題と目指すもの

- ✚ 支援を必要としている方にどのように手を差し伸べることができるのか、どのような支援ができるのか、いつも考えています。
- ✚ 日々の生活から災害に遭った時に至るまで、地域の方と外国の方が隔てなく普通に暮らし、支援が受けられるよう、多文化共生の考えを広め、その実践に努力していきます。



部員の本懐(もとから抱いている願い)

「グループ活動の中の個人の思い」～外国語支援事業部員 関 米勝さん～

NIFAに参加させて戴いてから既に15年が経過しますが、自分はこの団体の活動のなかで何かの役に立っているのだろうか？自分がいなくてもグループの活動には特に何の支障もないだろうし、このままNIFAの活動を継続すべきなのか、それとも個人で気ままにできそうなことをやってみたらどうだろうか？この疑問は常に心の底に淀んでいました。ある時までずっと。

従来、所属グループの主な活動は、皆さんご存じの通り「外国出身の市民の方々に生活情報を提供する」事でした。誤解の無いように申し上げますが、この種の活動は大切であり意義のある事は十分に承知しております。今後も主たる伝達媒体は「紙」から「電子」に変わっても、その重要性は変わらないと思っております。しかし、この種の活動は目に見えない不特定多数向けですので、**提供した情報が誰に届き、どのように活用されているのか、感謝されているのか。無視されているのか、反応を得る事が出来ない点に苛立ちに近い、もどかしさを感じておりました。**

しかし、サポートセンターの窓口業務を担当していた会員歴10年ほどの時に、この「もやもやを」一掃してくれる機会に恵まれました。きっかけは、外国籍の住民ではなく、日本人の方から持ち込まれた一通の英語の手紙です。アメリカの生命保険会社からのものでした。それから1年近く、依頼人と綿密に相談し、依頼者のプライバシーに深く踏み込みながら。書簡のやり取りで保険会社との交渉が継続されました。最終的に依頼人の銀行口座に入金が確認できた時には、二人で祝杯を挙げました。**私が一番求めていたのは、やはり直接に触れ合え、相手の反応を見ながら行動し、それが目に見える形で相手の役に立つ事だったのです。**

めったに無い体験の機会を与えて頂きやっと納得したのです。これも全てNIFAの一員、外国語支援事業部の一員として活動を継続していたからこそその賜物であって、私が個人でホームページ等を使って「英語のお手伝いを致します」的に発信したところで、見ず知らずの他人に私が体験した様な案件を持ち込んで来る人は皆無でしょう。NIFAの様な経験と信頼を重ねた団体の一員であったからこそのご褒美なのだと思うようになったのです。遅い！

もし、かつての私と同じようにNIFAとしてのグループ活動になんとか不満を抱えておられる方がおられましたら、その方に申しあげます。活動の自由が利かず、あるいは仲間との考えにずれがあり、今一つ乗りきれない活動でも、**地道に継続していると、いつかご自分が本当にしたいと望んでいるような貴重な体験をする機会が巡ってきますよ。きっと！**

以上

Q.「多文化共生」って何ですか？

A. 異なる文化を持つ人たちが対等な立場で生活を共有するにあたり、外国人が活動しやすい環境、街づくりを推進していくことです

普段外国語支援事業部で通訳や翻訳の仕事をお手伝いさせて頂いていますが、その中で「多文化共生」という言葉をたくさん聞く機会が増えてきました。いったいこれって何？と思い、昨年 NIFA と、流山市の推薦を受けて京都で研修を受け、「多文化共生マネジャー」という資格を取らせて頂きました。

「多文化」という言葉は、2006 年度に「**地域における多文化共生推進プラン**」として**総務省から発表されたのが始まり**です。それまでは「国際交流」&「国際協力」という言葉で地域の国際化を進めてきました。

総務省の HP では、「多文化共生」を「**異なる文化を持つ人たちが対等な立場で生活を共有するにあたり、外国人が活動しやすい環境、街づくりを推進していくこと**」と規定しています。

今は「多文化」という言葉が新聞やマスコミでたくさん見られます。では「多文化」とは一体何？と考えてみると、私達の周りには沢山あります。

目、鼻、耳、口、触る・触れる、というもので考えてみました。

先ず「**見る**」ですけれど、皆さんテレビ見ていますか？TV 東京の番組です。世界のどこかに日本人が一人ポツンと生活している、それを一生懸命追いかけて、何しているの？と聞いている。また世界から、You は日本に何しに来た？と外国人の生活を追いかけている番組です。私毎週見えています。外国人の私が今も外国人が何に興味を持っているの？と思ってみると面白い。お勧めです。

それから「**聞く**」です。耳で聞く音楽です。先ほどもワールドハーモニーでいろんな国の言葉で歌っていただいたのですけれど。他にも (PRAP「PEN-PINEAPPLE-APPLE-PEN」の画面を指して) これすごいですよね。去年再生回数が一位になったものです。



多文化共生マネジャー 金 淑花さんの講演から

これ日本語ですか？英語ですか？英語ですね。にも拘わらずこの曲が日本の子供たちから受けて、普通に歌われています。私達流山市国際協会でも外国語を教えたりしています。

じゃあ、鼻で匂いを「**嗅ぐ**」といったら、ハーブを考えました。皆さん日本でハーブといったらどういうものがありますか？ラベンダー、ローズマリー、バジル、山椒もそうです。山椒はジャパニーズペッパー (Japanese pepper) といってハーブの一つです。当たり前のものですが外国のものです。カレーもそうです。インド発祥のものではありますが、日本のカレーが世界一おいしいです。私は韓国に帰る時、お土産にバーモントカレーを沢山買って帰ります。皆さん食べてますよね。ピザもそうですし、スーパーやレストランでも和食というよりも、洋食の方も非常に売れてきて**私達はなんにも考えずに沢山外国のものを買って普通に生活しているんだ**なと思います。

「**触れる**」について、浅草のサンバカーニバルを見に行ったことはありますか？華やかで素晴らしいらしい。私は未だ行ったことはないのですが、興味のある方は是非行ってみてください。

じゃあ「**聞く**」について、皆さんクラシック音楽も当たり前に外国のものでありながら外国のものという感じはしていないですね。普通に聴いたり学校で習ったりしています。先ほど言った言葉の延長になりますが、今東武アーバンパークラインに乗ると日本語、英語、中国語、韓国語が表示されているのを皆さんご存知でしょうか？そのくらい普通になっていますけれど、この間びっくりしたのは、成田から北海道に行くのに飛行機に乗ったところ、日本語での説明、英語での説明、そして中国語での放送が2回ありました。私何だかわかりませんでした。何故だかわかりますか？(同じ中国語でも言葉が違うから、の声)

そうらしいですねエ。それがわからず、なんで韓国語が出ないんだって思った私です。それくらい、今では**飛行機に乗れば日本語だけではなく、外国語が流れるのも当たり前な時代**になってきていますね。

「匂い」だけでなく、ハーブを楽しむことでよい香り、癒しを私達は求めています。皆さんの庭にはローズマリー、ラベンダー、ミントを植えて楽しんでいる方もいらっしゃると思いますが、その中でも紅茶やカモミールもお茶として、普通に口にしています。

食べるもので、何が私たちの身の回りに当たり前にあるのかを見たり、私、あるスーパーで比較してみました。**キムチ売り場と日本の漬物売り場を見ると、キムチは23種ありました。日本の漬物は何種あった**と思いますか？**18種**でした。梅干しは除いて、白菜、ダイコン、キュウリの漬物の種類です。キムチが多いのにビックリ。皆さんの冷蔵庫にキムチはありますか？ありがとうございます。今は中学校や小学校の給食に納豆キムチ、キムチチャーハン、ビビンバが普通に出て楽しんでいます。

皆さん、チーズを楽しんでいる方もいるでしょう。ワインと一緒に楽しむ方、健康のために口にすると、沢山いるかと思えます。じゃあ調味料はどのくらいあるか、写真を撮って見たら数えきれないほど沢山ありました。余りにも種類が多かったです。カラシ、ワサビ、胡椒の中でも、ブラック、ホワイト、なんで分けているのか？種類がたくさんあります。私たちはそれを当たり前にはしています。

私の周りには外国の物がどれくらいあるかお話ししました。では流山市の外国はどうなっているのでしょうか。流山市の人口は非常に増えていまして今は18万人を超えました。その中で外国人を国籍別にみると中国、フィリピン、韓国、ベトナムの方が多いたのですが、ネパールの方は49人で26世帯、家族で来られている方が多いです。台湾やタイからは一人で来られている人が多いのが分かります。(平成28年12月1日現在)流山市の人口データなんです、流山市の市民課と千葉県の方で調べたものですが、平成27年12月1日の**流山市の方**は175,521人でした。平成28年12月までの1年間で**2.5%増えています**。一方で同じ期間、**外国人として市に登録された方は2,075人に達し、12.34%増えてい**

ます。流山市全体では外国人の方が大変増えています。

では、こんなに外国人が増えている中で、私たちは何をすべきなのか。沢山あると思います。「子育てするなら流山市」「住みやすい街流山」「工場もない、煤もない」と言っているのでも外国人も移ってきていると思います。外国人も子供の教育、生活の安定を優先に流山にやってくると思いますが、日本の社会に慣れない方、溶け込めない方も沢山いるかと思えます。この人たちに対して国際交流協会は何ができるのか。私達外国語支援事業部ではいろんなことを進めていきたいと考えています。

多文化とは、**異なる文化を持つ人たちが対等な立場で生活することが当たり前な時代、多文化共生とはともに未来を作っていく中で、日本人と外国人が活動しやすい街づくりをすること**だと思います。

国際交流協会は求めています。外国人サポートをしませんか？

外国人と一緒に生活できる街をつくるために、外国語支援事業部に参加していただき、共に流山市をよくしていきたいと思えます。

～以上～

◇この記事は、平成29年2月18日の「交流パーティー」で金さんが講演された内容を抜粋したものです。

◇この時のプレゼンに使用された資料(PDF)をご希望の方はサポートセンター宛にお申込み下さい。

「災害時外国人サポーター養成講座」参加報告

- ✚ 平成29年1月28日及び2月4日
- ✚ 参加：長田麗子、関米勝、金淑花、・松戸市民会館
- ✚ 講師：高橋伸行氏
多文化共生マネジャー全国協議会 理事
- ✚ プログラム
 1. 災害時に外国人が直面する課題とボランティアの役割
 2. 多言語支援センターでの活動
- ✚ 災害時に外国人が直面する「カベ」の例
 - 言葉のカベ 災害時特有の言葉の理解困難
 - 制度のカベ 在留資格、手続きの煩雑さ
 - ところのカベ 日本人が壁を作っていない？
- ✚ 支援現場では：支援物資、炊き出しの時間を伝える
 - 避難所での時間・スケジュールを守ってもらう
- ✧ これらを徹底させることが難しいけれど大切



「日本語講座をやさしく」

日本語講座は毎週水曜日の午前中に流山中央公民館で行われています。

普段何気なく使っている日本語を如何にわかりやすく伝えるかを一番に考えて指導しています。学習者は出身国も違えば、目標も人それぞれ。ひらがなが書けない方、非漢字圏の方、レベルも違うので、その学習者にあった学習方法を考え準備することがとても難しいのですが、やりがいのある仕事です。

日本語講座事業部 岩崎佳代子さん

◎ 「ペルーで解かったスペイン語」 ◎

今年3月のペルー旅行中のこと。首都リマからクスコへ移動する飛行機の中。前の座席のペルー人の女性が誰かを読んでいます。「ベン ベン アキ！」すると、小さな女の子が彼女の隣の席にきました。その女の子の名前だと思っていた「ベン ベン アキ！」それはスペイン語で「こっちに来なさい」という意味。お母さんが子供を読んでいたのです。そうか、これがスペイン語の命令形の使い方なんだ。苦手にしていた”命令形”を自然な形で理解できた機内の場面です。

ナスカの遊覧飛行で落ち込んだ、ひどい乗り物酔いも忘れ、アンデスの景色を見ながら、次の目的地”マチュピチュ”へと思いを馳せていました。

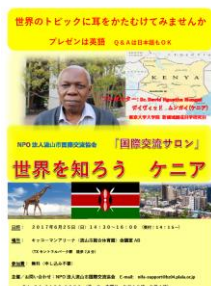
「ベン ベン ア ラ クラッセ デ エスパニョル！」
どうぞ、マリアンジェルス先生のスペイン語教室へ来て下さ

◎い！ スペイン語初級受講 恩田 博志さん ◎



《これからのイベント予告》

◆6月25日(日) →



「国際交流サロン～世界を知ろう～」(旧名「語る会」)

名称変更後の第1回目、今回は「ケニア」編です。講師は、デイヴィッド・ムンガイ先生(東京大学新領域創成科学研究所 特任准教授 農業気象学)

ケニアの事情や専門領域のお話を分かり易く話していただきます。お話、Q&Aともに英語ですが、日本語でも対応します。英語に浸りたい方や国際事情に関心のある方ふるってご参加ください。

場所: キッコーマンアリーナ AB 会議室

時間: 14:30～ (開場 14:15)

◆8月31日(木) →

「ゴーヤ料理教室」 流山ゴーヤクラブと NIFA の共催です。

場所: 京和ガスショールーム調理室(おたかの森)

講師: 管理栄養士 高野翠さん

メニュー: 当日発表します

◆10月9日(月) →
祝日

「フェスタ 2017」

場所: 生涯学習センター「エルズ」 多目的室

テーマ: 「広いアメリカ」

今年は「おたかの森 S・C」のオープンスペースが使用できないので、こちらでの開催となります。

文化交流事業部 新旧講師のご紹介 ～行く人 来る人 どちらも「熊」の字が～

① その国の言語で歌うのはむずかしい！

卒業にあたって 熊坂 牧子

文化事業部に、「何かNIFAらしい講座を」、とのご依頼を受けて私が発案したワールドハーモニーは、国際理解と国際交流を目的に多種の言語で歌う講座です。2008年4月スタートし、今年度からは熊谷道子先生にバトンタッチしました。

歌は世界中にあります、その国の言語で歌うのは難しい。日本語の母音は5つですが、もっと多くの母音を持つ言語。平均律にはない音程を持つ民族音楽。まさに国際理解にふさわしい講座に育ちました。さらに参加者が滞在した国の音楽も取り入れて、各国の文化を学ぶ機会になっています。今後もさらに有意義な経験を重ねるように期待しています。



熊坂講師

文化交流事業部長 花家真理

ワールドハーモニーは発足10年目を迎えました。長きに渡り熊坂先生にご指導いただいたことをメンバー全員で今後も生かしていくつもりです。新講師に熊谷先生をお迎えし最も身近な音楽で様々な国を知る、幅の広い合唱団に新たな魅力が加わると期待してください。コーラスは苦手と思う方も歌は誰でも口ずさむ様に生活の原点として楽しむ事が出来ると思います。是非皆様も新たな門出のワールドハーモニーと一緒に心に響く世界の歌を学びませんか！メンバーは随時募集中です。

② 笑顔を絶やさずに指導させていただきます

時には厳しく 熊谷 美智子

この度、ワールドハーモニーの講師を務めさせていただくことになりました熊谷と申します。前任の熊坂先生から2年程前に、ワールドハーモニーの活動についてお話を伺い、NIFAに入会し、皆さんと一緒に毎月のレッスンと年に何度かのステージで歌わせていただいています。今は、松戸に住んでいますが小さいころからずっと流山に住み音楽活動も流山を中心にやっているので、こうしてNIFAと関わらせていただけることがとても嬉しいです。ワールドハーモニーの皆さんはいつも本当に素敵な笑顔で歌っています。この笑顔を絶やさずにこれからも楽しんで外国の歌を歌っていけるよう、時には厳しくレッスンをさせていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



熊谷講師

*****バックナンバー借用依頼*****

古い「NIFA NEWS」、「会報」をお持ちでしょうか？「NIFA NEWS」は今号で204号になりました。

「会報」も24号と発行回数を重ねています。しかし残念ながらこれらのバックナンバーが不揃いです。

お手持ちの「NIFA NEWS」、「会報」をお借し下さい。紙ベース、データ（ワード、PDF）などいずれでも

結構です。特にNPO化されるまでの機関誌がありません。サポートセンター、広報部員までお知らせください。

（広報部長：小谷良美、部員：西山勝 三嶋栄子）